

理事長メッセージ

高品質な監査を通じて 企業価値向上を支援

EY新日本有限責任監査法人
理事長

片倉 正美



企業を取り巻く環境は、さまざまな事象が同時に発生し複合的に絡み合うポリクライシスの状況にあります。グローバル化、デジタル化、サステナビリティへの対応では企業の本気度が問われ、迅速かつ的確なビジネス・トランسفォーメーションが求められています。特に昨今、生成AIの飛躍的進化を受けて膨大なデータから生成される情報の透明性・信頼性への期待が高まっています。

「Building a better working world～グローバルな経済社会の円滑な発展に貢献する監査法人」。これは私たちEY新日本のパーサス(存在意義)であり、判断のよりどころです。中長期的な視野と併せ、柔軟かつ迅速な判断が絶えず求められる変化の早い社会において、パーサスが組織に息づいていることの意義を改めて感じます。

監査法人に求められる業務が広がり、果たすべき役割が変わる中、EY新日本では企業そして社会に対する付加価値を高めるべく、かねて最先端テクノロジーの活用を進めてきました。プロフェッショナルに求められるのは、数字の裏にある企業の真の姿を客観的に判断する力や、企業と対話し、ステークホルダーに伝わる企業開示を支援して、その価値を社会が評価できるようにしていくことだと考えます。

2024年7月より、EY Global Chair and CEOにJanet Truncateが就任し、監査品質を継続的に強化する方針が示されました。日本そして世界で、高品質な監査に対する私たちの姿勢は一貫しています。

未来を予測することが極めて難しい時代です。それでもEY新日本はつねに一步先の未来を見据え、自律的に、かつ多角的な視点を持って、徹底的に品質を高めていく姿勢を追求します。そうすることで、企業価値の創出、さらにはその先にあるグローバルな経済社会の円滑な発展に貢献してまいりたいと考えております。